

細島港

宮崎県県土整備部港湾課

〒880-8501 宮崎市橋通東2-10-1

☎0985-26-7188

URL : <https://www.pref.miyazaki.lg.jp/kowan/kurashi/shakaikiban/page00096.html>



1. 概況

現在の細島港は、商業港と工業港の総称であるが、商業港は天然の良港で古くから東九州の海上交通の要衝として著名であった。

徳川幕府時代は、日向・薩摩・大隅の各藩主が参勤交代の際には、必ず本港を経由しており、港口には番所が設けてこれらの出入船舶を検閲した。

明治のはじめは、沖縄・鹿児島方面より京阪神方面に向かう通商船舶が入港する程度であったが、その後明治13年四国・阪神方面との定期航路が開設されるにおよんで、本港の利用は次第に増加した。

明治20年には、オランダ人デレーケ技師の設計によって、近代的な港湾改修事業が進められ、明治27年に県費支弁港に、大正元年には指定港湾に編入された。

また、大正10年に日豊本線が開通し、更に同年細島港線も敷設され、貨物の集散は急増し、昭和2年には第2種重要港湾に編入された。

昭和7年から昭和15年にかけて、内務省直轄による港湾整備が行われた。

この間、大正12年から昭和12年にかけて、本港の港勢圏内に包含される延岡市に、旭化成延岡工場が設立され、一大工業地帯が出現し、船舶による原料及び製品の移出入は、年とともにますます増加し、本港の重要性は一段と増大した。

第二次大戦中は、本港の立地条件が南方諸地域と最短距離にあり、かつ、太平洋に面する天然の良港であることに着目して三菱石油・九州造船が本港内に石油精製を主体とする臨海工業地帯の建設に着手したが、敗戦とともにその建設を中止した。

戦後、県総合開発計画の樹立にともない、運輸交通の面における積極的な整備が要請され、昭和22年より港湾整備計画にもとづいて埠頭施設、泊地浚渫ならびに陸上施設等の改修が進められ、昭和24年には貿易港として開港指定を受け、更に昭和26年には重要港湾に指定された。

昭和25年には、国土総合開発の一環として、全国にさきかけて国土の総合的利用、資源開発、産業の適性配置等本県産業振興の基本施策を樹立し、本県発展の拠点として、昭和27年に細島臨海工業地帯の造成ならびに工業港の建設に着手した。

以来、工業港地区は工業用地の造成をはじめ港湾施設の整備増強を進め、昭和38年までに15,000トン公共岸壁2バース、

2,000トン公共岸壁4バース、大型荷役機械、タグボート、公共貯蔵用、県営上屋、臨海道路等の整備と相まって、昭和39年11月開港し第一船に中国船が入港して以来、国内船はもちろん、各国の大型船舶が相次いで入港しており、名実ともに大型港湾としての機能を発揮している。更に44年度、45年度で第1区には15,000トン1バースと5,000トン1バースの公共岸壁を、引き続き46年度で第2区に3,000トン公共1バースを増設し、また工業港内白浜地区においても、45年度に石油配分基地、また、外貿輸入指定港として昭和43年10月16日指定を受けていることから、46年度には木材基地の造成を行い、一段と港湾の機能は増大され、昭和46年5月15日には本県でただ1つの港則法にもとづく特定港の指定を受けた。

また、この後昭和53年から昭和55年にかけて工業港白浜地区に15,000トン公共岸壁1バース、5,000トン公共岸壁2バース、2,000トン公共岸壁2バースが増設され、また、同時にこの地区の余島に昭和55年から昭和57年にかけて骨材専用埠頭として、2,000トン公共岸壁2バース、700トン公共岸壁3バースが完成し、昭和58年4月に供用開始の運びとなった。

一方、カーフェリーも昭和46年3月に細島～川崎間が、その後も神戸・大阪・広島航路が相次いで開設されたが、いずれも現在は廃止となっている。そのような中、平成5年12月にコンテナ航路が開設され、外貿定期コンテナ貨物量が飛躍的に伸び、また、RORO船の大阪航路が平成13年10月、東京航路が平成18年8月にそれぞれ開設され、本県の貨物の輸送に大きく寄与している。しかしながら、外航商船の大型化、うねり等による荷役障害の発生等、背後地域の諸要請に十分に対応できない状況にあったため、平成9年7月に港湾計画を改訂。平成12年には白浜地区14号岸壁(-13m)が供用開始となり、沖防波堤の整備は現在も進めている。また、コンテナ貨物の増加への対応と滞船等の影響を考え、平成23年より整備を進めていた白浜地区17号岸壁(-13m)が平成27年に完成したことで、バルク貨物とコンテナ貨物の混在化の解消が図られることとなった。平成28年2月には、船舶の大型化や取扱貨物量増加による背後地不足に対応するため港湾計画を改訂した。そのような中、地域住民、港湾関係者、立地企業、行政が一体となって行っていた様々な取り組みが評価され、「ポート・オブ・ザ・イヤー2015」を受賞した。また、商業港地区における地域住民による地域振興の取り組みが評価され、平成29年7月に「みなとオアシス」に登録された。

令和元年より整備を進めていた白浜地区16号岸壁(-10m)

が令和7年1月に完成し、今後の更なる林産品取扱量の増加が見込まれている。

令和4年からはRORO貨物の需要増大に対応するため、新たに工業港地区において19号岸壁(-9m)の整備を進めている。

なお、SOLAS条約に対応するため、工業港地区1・2号岸壁、工業港地区5・6号岸壁、白浜地区10・14号岸壁、白浜地区16・17号岸壁及び日向製錬所岸壁ふ頭にて保安対策を実施している。

2. 港勢

入港船舶

種別	合計		30,000総トン以上		10,000総トン以上 30,000総トン未満		6,000総トン以上 10,000総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	301	2,559,521	11	346,748	24	483,583	151	1,303,853
内航商船	1,767	2,300,050	2	100,284	39	561,094	6	55,286
自航	1	14,006			1	14,006		
その他	2,228	339,965					4	35,600
合計	4,297	5,213,542	13	447,032	64	1,058,683	161	1,394,739

種別	3,000総トン以上 6,000総トン未満		1,000総トン以上 3,000総トン未満		500総トン以上 1,000総トン未満		5総トン以上 500総トン未満	
	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数	隻数	総トン数
外航商船	78	343,265	37	82,072				
内航商船	152	755,428	52	119,750	261	202,041	1,255	506,167
自航								
その他	2	9,640	158	249,116	10	5,820	2,054	39,789
合計	232	1,108,333	247	450,938	271	207,861	3,309	545,956

最大入港船舶のトン数 50,444総トン(喫水7.8m)

海上出入貨物

項目	合計		農水産品		林産品		鉱産品		金属機械工業品	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	218,241	100.0	3,376	1.5	93,757	43.0	33,435	15.3	14,606	6.7
輸入	819,250	100.0	21,039	2.6	488	0.1	726,320	88.7	1,778	0.2
計	1,037,491	100.0	24,415	2.4	94,245	9.1	759,755	73.2	16,384	1.6
移出	851,433	100.0	9,660	1.1	287,736	33.8	421,053	49.5	55,934	6.6
移入	932,789	100.0	119,693	12.8	18,830	2.0	191,067	20.5	166,506	17.9
計	1,784,222	100.0	129,353	7.2	306,566	17.2	612,120	34.3	222,440	12.5
合計	2,821,713	100.0	153,768	5.4	400,811	14.2	1,371,875	48.6	238,824	8.5

項目	化学工業品		軽工業品		雑工業品		特殊品		分類不能のもの	
	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%	トン	%
輸出	47,315	21.7	21,542	9.9	3,430	1.6	780	0.4		
輸入	17,275	2.1	45,192	5.5	3,795	0.5	3,363	0.4		
計	64,590	6.2	66,734	6.4	7,225	0.7	4,143	0.4		
移出	45,222	5.3	29,328	3.4	1,120	0.1	1,380	0.2		
移入	363,677	39.0	12,244	1.3	2,900	0.3	57,872	6.2		
計	408,899	22.9	41,572	2.3	4,020	0.2	59,252	3.3		
合計	473,489	16.8	108,306	3.8	11,245	0.4	63,395	2.2		

外貿コンテナ貨物取扱量

項目	フレートトン	TEU	
		実入り	空コン
輸出	115,244	9,838	1,181
輸入	60,712	5,426	2,455

乗降人員

	合計	乗込人員	上陸人員
外国航路	3,594	1,797	1,797
内国航路	4,568	2,284	2,284
計	8,162	4,081	4,081

3. 港湾施設

区分 埠頭名	けい船施設					荷さばき施設					主な取扱貨物
	バース名	前面水深(m)	延長(m)	最大けい船能力(DWT)	船席数	荷役機械			上屋		
						機械名	揚力(t)	基数	棟数	使用面積(m ²)	
(公 共)											
工業港	1号岸壁 2号岸壁 3号岸壁 4号岸壁 5号岸壁 6号岸壁 7号岸壁	10.0 10.0 5.5 5.5 7.5 10.0 6.0	175 185 180 180 130 185 115	10,000 10,000 2,000 2,000 5,000 10,000 -	1 1 2 2 1 1 1				3	4,650	水、非金属鉱物 完成車自動車、 輸送機械 その他の雑穀、 セメント セメント、動植物性 飼肥料 原木、非金属鉱物 原木、石炭 輸送機械、化学工業品 (RORO貨物)
白 浜	8号岸壁 9号岸壁 10号岸壁 11号岸壁 12号岸壁 13号岸壁 14号岸壁 15号岸壁(耐震) 16号岸壁 17号岸壁 ケーソンヤード岸壁	5.5 7.5 10.0 6.0 4.5 5.5 13.0 7.5 10.0 13.0 8.5	90 260 185 110 180 180 260 130 170 260 100	2,000 5,000 10,000 3,000 700 2,000 40,000 5,000 12,000 40,000 -	1 2 1 1 3 2 1 1 1 1 1	ガントリークレーン ガントリークレーン	48.4 50.2	1 1			原木、木材チップ 水 コンテナ その他の石油、揮発油 砂、砂利、石灰石 砂、砂利、石材 コンテナ 製材、木材チップ 原木、原塩 石炭、原塩
商業港	2号岸壁 3号岸壁 4号岸壁	7.5 4.5 4.5	250 540 180	5,000 700 700	2 9 3				1	2,201	水 水、原塩
(専 用)											
株 日 向 製 錬 所	日向製錬所岸壁	11.0	313	15,000	1	水平式引込 クレーン	18	2			金属鉱、非金属鉱物
第 一 糖 業 (株)	第一糖業ドルフィン	10.0	175	10,000	1						砂糖、重油
旭 化 成 (株)	旭化成ドルフィン	5.5	29.2	2,000	1						化学薬品

保 管 施 設		
区 分	棟数	面積・容量
野積場 (工業港)	-	300,961m ²
(商業港)	-	48,706m ²
普通倉庫		
1~3類倉庫	-	-
危険品倉庫	-	-
野積倉庫	-	-
貯蔵倉庫(サイロ)	-	-
冷蔵倉庫	-	-
水面倉庫(貯木場)	-	-

泊 地		
区 分	水深(m)	面積(m ²)
錨泊地		
工業港	1.0 5.5 6.5 7.5 10.0 13.0	16,100 43,700 48,000 78,500 387,034 288,366
商業港	3.0 3.5 4.5 7.5	12,450 79,490 111,980 164,060
はしけ溜	-	-
木材投下泊地	-	-
危険物泊地	-	-

港 湾 関 連 施 設	
名 称	延床面積(m ²)
細島港湾福祉 センター	600

臨 港 交 通 施 設	
名 称	総延長(m)
臨港道路 工業港 商業港	11,515.1 2,201.4
新交通・鉄道	-
ヘリポート	-

4. コンテナターミナルの概要

白浜地区

埠 頭 名	細島港国際コンテナターミナル
ターミナル面積	88,590㎡
岸 壁 延 長	(10号岸壁)185m (14号岸壁)260m
水 深	(10号岸壁)10m (14号岸壁)13m
荷 役 機 械	GC2基(1号基、2号基)
ア ウ ト リ ー チ	1号基36m、2号基37.5m
リーファープラグ	24基
荷 役 方 式	ストラドルキャリア方式

5. マリーナ

該当なし

6. 緑地

名 称	区 分	面 積 (㎡) (植栽率 - %)	水際線延長 (m)	緑地タイプ	竣工年度	施 設	
						利 用 施 設	附 属 施 設
(工業港) 港の森		16,472 (50)	-	シンボル 緑地	昭和48年度	ソフトボール場1面 ゲートボール場1面	遊歩道
余島緑地		4,000 (56)	160	緩衝緑地	昭和58年度		
工業港緑地		1,947 (-)	-	道路沿緑地	昭和49年度		
津波避難施設 (東地区)		660 (-)	-	津波避難 施設	平成29年度		
津波避難施設 (西地区)		640 (-)	-	津波避難 施設	平成29年度		
(商業港) 沿道緑地		1,000 (90)	75	道路沿緑地	昭和55年度		
水ヶ浦緑地		13,802 (-)	300	親水緑地	平成14~ 15年度		

7. 基地港湾

該当なし

8. ポートサービス

港湾運送

名 称	所 在 地	電話番号	業 種					
			一 般	港 湾 荷 役 (一貫)	船 内	沿 岸	は し け	い か だ
センコー(株)延岡支店	〒882-0872 延岡市愛宕町2-1-5	0982-32-3351	○	○				
日本通運(株)延岡支店	〒883-0063 日向市竹島町3	0982-56-1612	○	○				
八興運輸(株)	〒883-0065 日向市船場町1-1	0982-52-2185	○	○				
日向運輸(株)	〒883-0065 日向市船場町1-16	0982-52-2148	○	○				
(株)日向製練所	〒883-8585 日向市船場町5	0982-52-8101		○				

水先

水 先 区	水 先 人 会 事 務 所 所 在 地	電話番号	会員数
細島	〒883-0034 日向市富高6285-18	0982-55-0427	4

曳船

名 称	所 在 地	電話番号	馬 力	隻数
細島港荷役振興(株)	〒883-0062 日向市大字日知屋17731-2	0982-52-4527	3,600馬力	1

医療・厚生施設

(港湾)

区 分	名 称	所 在 地	電話番号
総合厚生	細島港港湾福祉センター	〒883-0062 日向市大字日知屋16847-1	0982-52-6832

9. 関係出先官公署

名 称	所 在 地	電話番号
福岡出入国在留管理局宮崎出張所	〒880-0802 宮崎市別府町1-1(宮崎法務総合庁舎)	0985-31-3580
門司税関細島税関支署	〒883-0063 日向市竹島町1(細島港湾合同庁舎)	0982-56-1253
福岡検疫所宮崎空港出張所	〒880-0912 宮崎市大字赤江297(宮崎空港内)	0985-63-4177
門司植物防疫所鹿児島支所細島出張所	〒883-0063 日向市竹島町1(細島港湾合同庁舎)	0982-53-1339
九州運輸局宮崎運輸支局	〒889-0925 宮崎市大字本郷北方宇瀬戸尾2735-3	0985-63-2512
第10管区海上保安本部 宮崎海上保安部日向海上保安署	〒883-0062 日向市大字日知屋16847-5	0982-52-8695
第10管区海上保安本部 宮崎海上保安部交通課	〒887-0001 日南市油津4-12-1	0987-22-3264
動物検疫所門司支所鹿児島空港出張所	〒899-5113 霧島市隼人町嘉例川1590-5	0995-43-9061
九州地方整備局宮崎港湾・空港整備事務所 細島事務所	〒883-0062 日向市大字日知屋新開17371-1	0982-52-5303
宮崎県北部港湾事務所	〒883-0062 日向市大字日知屋新開17371-2	0982-52-5366

